


岡山県で2番目に古いキリスト教会
日本キリスト教団天城教会敷地及び教会堂



指定区分	県指定史跡
読みかた	にほんきりすときょうだんあまききょうかい しきちおよびきょうかいどう
所在地	倉敷市藤戸町天城
指定年月日	昭和56年4月7日
解説	明治23年(1890)に建てられた木造二階建の擬洋風建築。県内に現存する教会堂では高梁キリスト教会に次いで古く、設計者も同じ吉田伊平(伊予今治出身)である。明治13年(1880)頃から天城地域にキリスト教の伝道が始まり、天城教会はその活動の拠点とされた。その後、倉敷から児島方面への布教の本拠地となった。キリスト教の伝道過程を知る上で貴重な場所である。
アクセス方法	バス停「天城上之町」から約0.1km / JR植松駅から約3km
公開状況	外観のみ
設備	駐車場 
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	日本キリスト教団天城教会敷地及び教会堂
よみかた	にほんきりすときょうだんあまききょうかい しきちおよびきょうかいどう
しよざいち (所在地)	倉敷市藤戸町天城
していしたひ (指定した日)	昭和56年4月7日
せつめい	明治(めいじ)13年ごろから天城地方(あまきちほう)にキリスト教(きょう)の布教活動(ふきょうかつどう)が始(はじ)まりました。天城教会(あまききょうかい)は明治23年に建(た)てられて、ここを活動の拠点(きよてん)として、倉敷(くらしき)や児島(こじま)へ布教活動が広げられました。今でも残(のこ)っている教会としては県内(けんない)では高梁(たかはし)キリスト教会の次に古いものです。